

地域“食”豊かなインバウンド需要への対応

新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合

●所在地：〒950-0965 新潟市中央区新光町 17 番地

●電話番号：025-384-0761

●設立：昭和 33 年 9 月

●出資金：616 千円

●組合員数：512 人

●URL：<http://www.niigata-ryokan.or.jp/>

背景と目的

全国における訪日客が 1,900 万人に迫るなか、新潟県内の上半期の外国人宿泊数は、前年同期の 2 倍に急増している。インバウンド需要が年々増加し、今後避けられない大きなテーマとなった。県内の特定の地区だけに留まらず、県全体としてもその受入れについての対策を迫られている。

事業・活動の内容

当組合では「にいがた旅館街スイーツめぐり」「にいがた朝ごはんプロジェクト」「にいがた地酒の宿」の各キャンペーンを企画し、県内各地域の食材や、特産品を提供しており、地域の生産者や酒蔵と連携しながら、地域の活性化につなげている。この取組みは地域の魅力を発信することにもつながっている。企画運営にあたっては、県内各地域に委員会を設置し、地域色を高めながら勉強会を定期的で開催している。

以上の基本的な対応に加えて、特にインバウンドに限っての対応については、現在、青年部のインバウンド委員会が中心となってその強化を図っている。平成 27 年の取組みとしては、新潟空港活性化の有識者会議への参加等があるほか、積極的な施設に於いては英会話教室等も開催している。

今後は、インバウンド対応についてインターネットでの集客セミナーの開催を予定している。また、観光人材育成事業でもインバウンドの受入についての研修、お風呂の利用方法や浴衣の着方などの館内インフォメーションの整備、また、県のプロモーションイベントと連動したセールスツールの整備などを考えている。

成果

各キャンペーンは、年々企画に賛同する地域や宿泊施設が増加し、地域の食材や特産品の活用および地域の生産者や酒蔵とのコラボレーション等により、6次産業化につながっている。また、この地域食文化の再発掘や継承、地域連携、地域の魅力発信に寄与したとして高く評価され、平成 26 年に観光庁長官表彰を受賞した。